

M-CHAT の活用を通じた発達障害児と家族への早期支援の充実

1 趣旨

発達障害者支援法では、発達障害児の早期発見・早期支援について明記されている（第三条「国及び地方公共団体は、発達障害者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進のために発達障害の症状の発現後できるだけ早期に発達支援を行うことが特に重要であることに鑑み、発達障害の早期発見のため必要な措置を講じるものとする。」）。

M-CHAT は、自閉スペクトラム症の行動チェックリストで、早期発見におけるエビデンスを有するツールとして、乳幼児健診の場でも広く使用されている。

本セミナーでは、M-CHAT を活用して自閉スペクトラム症の早期発見と早期介入に取り組むための適切な使用方法を確認し、家族支援も含めた地域における早期支援体制の充実に向けて学びを深める機会とする。

2 講師

神尾 陽子先生

神尾陽子クリニック院長／児童精神科医／国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
客員研究員／お茶の水女子大学 客員教授

(元・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部 部長)

3 主催

国立障害者リハビリテーションセンター(企画・情報部 発達障害情報・支援センター)
厚生労働省

4 会場

WEB によるオンデマンド配信

5 日時(配信期間) 令和7年1月15日(水)～令和7年3月31日(月) (予定)

※配信期間終了後は、「発達障害ナビポータル」の会員ページで研修用動画コンテンツとして収載予定

6 受講要件

- ・福祉・教育・保健/医療分野における発達障害児者支援の従事者
- ・行政職員(都道府県/指定都市、市区町村)

7 参加費

無料

8 申し込み・申込〆切

「発達障害ナビポータル」上の申込フォームにて事前申込み

9 後援(予定)

文部科学省、こども家庭庁、国立特別支援教育総合研究所(発達障害教育推進センター)
発達障害者支援センター全国連絡協議会